

平成 28 年度事業計画（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

【基本方針】

八王子市は市の基本構想「八王子ビジョン2022」において「協働のまちづくり」を目標の一つに取り上げています。協議会としても、この構想に全面的に賛成であり、会員の皆さんや多くの市民活動団体、市民の皆さんとともに、この構想実現に向けて一層の努力をしていきます。

八王子市は平成 27 年 4 月から東京都で唯一の中核市になりました。また、平成 29 年度は八王子市の市制施行100 周年の年度です。100 周年記念事業実行委員会や専門部会へは今年度も引き続き委員を派遣し検討に参画して参ります。

平成 28 年度は八王子市市民活動支援センター運営を受託して6年目の年となります。「はちコミねっと」の本格的始動により、市内で活躍する多数の市民団体を市民の方々に知って頂く本格的広報支援が出来る体制が整いました。運営母体として努力していきます。ファンド事業に関しては「物」から「人財」への動きを加速すべく内部体制も充実させて対応を図ります。従来からの継続事業に加えてこれらの新規事業に多くの工数が見込まれますので、28 年度はスタッフの充実も図り対応していきます。

協議会自主事業については次の3点に重点を置き、活動していきます。

1. 従来業務・イベント等の推進

各部および特別プロジェクトで実施しているイベントや企画は、それぞれの部会を通じて継続して実施します。継続実施か終結かの判断は理事会にて討議の上決定いたします。

広報については隔月発行の「協議会だより」の継続発行と配布先の拡大について検討していきます。HPについては市民団体から親しみやすいものにすべく検討を進めます。

実行委員会方式で進めている「わくわく広場」、「お父さんお帰りなさいパーティー」や「NPO八王子会議」については、従来通り主体団体として活動の推進を図ります。オトパについては、昨年度実施して好評だった南大沢地区での開催による年 2 回開催計画を今年度も実施すべく努力いたします。

東京高専の「サイエンスフェスタ」、「井戸端会議」「市民活動交流パーティー」等の事業については多くの市民活動団体の協力を得ながら、さらなる発展を期して進めてまいります。25年度から受託している「はちおうじ志民塾」については運営体制を一新し、チーム力を発揮し、受講生の満足を得られるよう企画運営をしていきます。

その他、花と緑のイベント等外部のイベント開催の際には支援センターと共同で出展し、市民活動を PR します。

絆グループの取り組みである「活き生きハンドブック」活動については継続事業として今年度も福祉医療機構への助成金申請をします。

2. 会員の協議会活動への参画促進

会員の皆さんには団体・個人を問わず、協議会の諸活動に参画していただくべく声掛けしてまいります。昨年度は「活き生きハンドブック」作成事業の実施にあたり理事以外の会員の皆さんのご協力を頂き、大きな成果に結びつきました。オトパ実行委員にも一般市民を含む多くの方々に協力していただきました。市民塾の運営も理事以外の会員の方の協力を得ています。

これからの会員増、諸活動の活性化を考えると理事だけでは実現できませんので、具体的成果につながるような会員の活動参画を企画実施して行きたいと思えます。各部会やプロジェクトの活動を推進していく中で、それぞれが工夫を凝らし、実現に向けて最大限の努力を致します。

3. 新規事業

今年度は八王子市制施行100周年のプレイベント期間です。八王子市市制施行100周年記念事業実行委員会が募集している100周年記念イベントに協議会は「市民活動フェスティバル」への取り組みを実施すべく応募しました。認可された暁には多くの市民団体の協力を仰ぎ、本イベント開催時期に合わせて準備を進め、本イベントの際に大いなる力を発揮すべく取り組んで参ります。

また、コワーキングスペース運営等の検討も昨年に引き続き検討してまいります。中期計画策定に関しては昨年度種々検討しましたが、具体化することはできませんでした。今後は組織体制を検討する中で中期的観点での検討を進めていきたいと考えます。

【1】支援センター事業

○支援センター事業基本方針

世界に例を見ない少子多老化が進行する中、これから想定される社会環境の変化は、これまでの行政サービスや社会システムだけでは充分ではなく、多様なセクターが連携、協働することが求められています。介護保険法の改正をきっかけに八王子でも、地域を包括的に支援する仕組みの構築が検討されていますが、このことは、介護にかかわる課題解決だけではなく、人の誕生から看取りまで社会のあらゆる過程、分野で多様な人々や組織の関わりが必要とされるということだと認識しています。そしてそこには、様々な分野で、社会課題に取り組んでいるNPO、市民活動への期待とともに、そうした活動に具体的な社会的成果を生み出すことが求められています。

八王子市市民活動支援センターは、社会貢献、地域活動の担い手である市民の方々の地域への参加意欲のきっかけづくりや団体活動の基盤強化そして継続性、信頼性をサポートする様々な事業をとおして、今年度も引続き自立した市民力、地域力向上のお手伝いをしていきます。

○重点目標

- (1)蓄積したコーディネート機能やノウハウを活かし、社会ニーズに対応できるサポート事業を実施します。
- (2)市民、NPO、地縁組織、大学、企業、行政等多様なセクターとの協働・連携を図り、地域を包括的に支える環境づくりに努めます。
- (3)八王子コミュニティ活動応援サイト「はちコミねっと」の利用を促進し、地域力、市民力向上のお手伝いをします。
- (4)NPO活動の基盤強化や信頼性向上を目的とした「NPOパワーアップ講座」を継続し、また地域資源（物、人財、資金等）の有効活用による「ゆめおりファンド」事業で「人財」支援をスタートし、NPOを社会が支える環境づくりを目指します。
- (5)モニタリングや定期的アンケート、調査研究結果を活かし、社会的ニーズを把握した事業を提供します。
- (6)四半期ごとに開催する「企画運営会議」により、指定管理者として事業遂行の検証を行います。
- (7)毎年度末に、当該年度事業を「評価」と「課題」で検証し、次年度事業計画に反映します。
- (8)スタッフの教育研修により人材育成に努めるとともに、各事業に多様な意見を取り入れるため外部スタッフの参加を積極的に推進します。
- (9)支援センター施設利用者の利用満足度の向上と安心安全の維持に努めます。
- (10)業務の改善と効率的運営で経費の節減に努めます。

1. 企画運営会議

四半期毎に1回、企画運営会議を開催し、効果的な事業推進を討議し、市民活動を取り巻くニーズに対応した中長期的、未来志向で支援センターの運営に取り組めます。

2. 情報セキュリティ委員会

個人や団体の情報を預かる支援センターはその情報の保護管理に大きな責任があるとの認識から、支援センター個人情報保護方針に基づき、情報セキュリティ委員会を定期的で開催します。また、毎年、監査人による監査で適正な情報管理のチェックを受けると共に、スタッフを対象にした教育研修会を実施し、法令及び支援センター情報セキュリティ管理マニュアル等の遵守を徹底します。

3. 八王子市環境マネジメントシステム(LAS-E)への対応

八王子市が取り組んでいる八王子市環境マネジメントシステム(LAS-E第3ステージ=市民・事業者やパートナーシップ組織による環境保全活動)に基づき、多様な団体の連携、協働のきっかけづくりで対応します。

4. 相談事業

相談業務は相談者に寄り添い、受け止めることをモットーにスタッフ全員で対応します。相談対応は様々な知識、経験、コーディネート能力が求められるため、外部研修への積極的な参加、多様な団体との交流を通しスタッフのレベル向上に努めます。また、専門相談は NPO 経営支援アドバイザー派遣制度の活用やNPO法人との提携により、会計、財務、労務、税務等の専門的相談に対応します。

5. NPOの基盤強化支援の充実

団体の基盤強化、信頼性の向上は市民活動が活性化し、社会的認知を高めて行くためには避けて通れず、その自立支援を強化します。具体的には団体運営の基本(ミッション、運営、情報発信、会計等)である実務能力向上に向けた講座の充実やファンド事業での「物」と「人財」による支援で団体の立ち上げ、運営をサポートします。

6. 新規事業への取り組み

効果的な事業サービス目指し、「人財」支援、「はちコミねっと」サイト運営など、これまで蓄積してきたノウハウを活かした事業を推進します。また、単に事業を広げるだけでなく、これまでの事業の見直しや改善も検討しながら社会ニーズに対応できる新規事業への取り組みを検討します。

7. 調査・研究事業

利用者のニーズと期待に対応したサービス向上のため、開催する諸講座の「参加者アンケート」、「市民満足度調査」、昨年度実施した「市民活動実態調査」等の結果を集計、分析し、具体的事業の効果的推進に役立てます。

8. 施設運営管理及び施設の安全、危機管理体制

恒常的な施設利用満足度の向上を目的に、清掃、照明、空調などの利用環境の適正管理に努めると共に、引き続き「サポハチガーデン」を、市民や団体が打合せや情報収集、交流や作業の場として予約なしで利用できるフリースペースとして提供します。また、不特定多数の市民や団体の方々に利用頂いていることから、ビル管理会社と連携し、消防法に定められた自衛消防訓練への参加や防火上必要な教育研修等への参加、緊急連絡網の整備により、危機管理能力を高め、施設利用者の安全安心の確保に努めます。

9. モニタリング制度への取り組み

指定管理施設に対する八王子市のモニタリングへの対応について、指定管理業務の遂行はもとより、その他、独自の年度計画事業の効果的推進により、利用者評価に耐えうる施設運営、サービス提供に務めます。また、評価結果を真摯に受け止め、スタッフで共有、市民サービスの向上、施設運営管理に反映します。

10. 総務部計画

- (1) 平成28年度事業報告書作成
- (2) 平成29年度事業計画書、予算計画書作成
- (3) 指定管理者モニタリングへの適切な対応
- (4) 「地域参加支援に関する情報交換会」への参加
- (5) 「6市・市民活動連絡会」への参加
- (6) NPO経営支援アドバイザー派遣制度や専門機関との提携による専門相談対応
- (7) 大学、大学生との連携交流の強化
- (8) 市内中学校職場体験への協力
- (9) 支援センター視察・見学訪問者の受け入れ
- (10) 市民活動フェスティバルの開催
- (11) 多様なイベントへの支援センターブースの出店
- (12) 各団体、関係先講座、委員会等への講師派遣
- (13) スタッフ教育、研修の実施

11. 広報部計画

- (1) 紙面装丁の改善
手にとって読んでいただける紙面づくりを目指します。
- (2) 掲載記事(1～2面)
市民・市民活動団体が地域の課題を自分のこととして受け止め、地域を支える担い手として参加、行動するきっかけづくりを視点に取り入れた紙面づくりをします。
- (3) 多様な視点、意見を反映した広報紙とするため外部サポートスタッフの参加による運営をします。
- (4) 多摩信用金庫の「たまらび」八王子号の製作プロジェクトに参加するなど、外部との関係性を高めることで、スキルアップや連携を進めます。
- (5) アンケートの実施
1月号の発送に合わせ、広報紙「SUPPORT802」に関するアンケートを実施し、読者のニーズや意見を紙面づくりに活かします。

12. 啓発部計画

啓発事業では、NPO、市民活動を知っていただき、市民の方々に地域参加のきっかけの場を提供するとともに、NPO、市民活動団体の運営基盤強化のための講座やイベントを提供することによって団体の信頼性の向上や、継続的活動をサポートします。今年度は特に、多様な分野で地域を包括的に支えるシステムの構築が求められており、地域のコミュニティづくり、居場所づくりをテーマに事業を企画します。

(1) アクティブ市民塾

アクティブ市民塾は、支援センター開設以来、NPO、市民活動団体を紹介するイベントとして毎月1回開催してきましたが、これを今年度より、隔月ごとの開催とし、これまでより準備に時間を割き、テーマやターゲット、チラシを団体と十分話し合い、魅力ある講座で発信力や集客を高めていきたいと考えています。具体的には、参加団体のニーズに基づき、会員募集、サポーター募集、活動の周知等の目的に合わせた内容を企画していきます。

(2) 市民活動支援講座

1) NPO パワーアップ講座

団体が実務能力を向上することで、その運営基盤を強化し、信頼性の向上や、継続的活動につながることを狙いとして開催しています。引き続きパワーアップ講座を継続的な講座として確立するとともに、積極的に受講し、講座の成果をしっかりと団体に持ち帰っていただくため、連続講座を基本としながら、単発でも参加できるようにします。プログラムとして、まず参加者を募るキックオフイベントを行い、多くの団体に参加していただくきっかけの場とし、2回目以降、一つ一つの講座が充実し、講師、受講者の満足度が向上する、魅力的なものとなる内容とします。そして多様な受講者を想定し、土曜日の午後を中心に月1回/全7回開催予定です。

2) NPO 交流会

交流会は、今年度、テーマを「地域コミュニティづくり」とし、その地域で活動をしている様々なNPOとそれを取り巻く市民の方、町会自治会等に集まってお話しいただき、子どもから高齢者まで生き生きと暮らせる地域のためにNPOができることを考えていきます。

3) NPO めぐりツアー

交流会で取り上げた「地域コミュニティづくり」のテーマと連動し、居場所づくりに取り組んでいる世田谷区の事例を見学に行く予定です。一般社団法人世田谷トラストまちづくりは、空き家や空き室を地域の居場所として活用する「地域共生のいえ」事業を行っています。その事業について伺い、実際に現地を訪問する予定です。

(3) 市民活動実践講座

1) スキルアップ講座

スキルアップ講座は、団体、市民を対象に、NPO、市民活動に関する法や制度、課題、現況や新しい活動の情報提供など「NPOパワーアップ講座」と視点を変えた企画で、団体の活動スキルの向上と市民の方々の一歩進んだNPO活動への興味をサポートします。

13. 情報部計画

(1) 支援センターホームページの維持・更新

1) 支援センターのホームページに随時、支援センター業務、支援センター主催イベント・講座の告知、活動レポート、広報紙「サポート802」および事業計画書、報告書、実施アンケート結果等をアップし、市民や市民活動団体への情報発信を行います。

2) サーバーの維持管理（レンタルサーバー&ドメイン維持費）

3) レンタルサーバーの移行の検討

(2) ホームページの改造

平成27年度に、「はちコミねっと」と既存ホームページとの基本的な棲み分けは実施できましたが、今年度、機能棲み分けをさらに明確化し、支援センター事業の紹介を中心に変更し、支援センターの独自性

を発信できるサイトを目指します。また、デザインの変更も検討します。

(3)「はちコミねっと」の活性化

「はちコミねっと」は市民投稿型のコンテンツサイトであり、その活性化には多くのコンテンツが常時アップロードされ、団体や市民に有益なサイトと認識されることが必須の条件であることから、積極的な利用促進策を実施する必要があるため、今年度次の各種施策を実施します。

- 1)「はちコミねっと」の適切な運用管理
- 2)利用問い合わせへの迅速、適切な対応
- 3)団体向け定期操作法講習会の実施 年 12 回
- 4)「はちコミねっと」の活性化施策検討会を運営管理者(八王子市、テンプスタッフ、支援センター)で開催。
- 5)広報活動(チラシの発行等)

(4)情報セキュリティの適切な管理

個人情報保護方針や情報セキュリティマニュアルに基づき適切な管理を行い、八王子市のセキュリティ監査や外部委託監査の指摘、指導等に適切に対応します。

14. ファンド部計画

(1)物品の支援

団体活動をサポートするため、寄付物品による「物」の支援を継続するため、団体ニーズ調査を目的に団体訪問を行うとともに、企業訪問により寄付元企業の開拓を進めます。

(2)人財の支援

ファンド事業の新たなサポート手段に「人財」を追加し、団体活動の基盤強化のお手伝いを開始します。手法として、個人人財による対応のほか、プロボノ的要素を取り入れたチームによる伴走支援を視野に入れ、現役世代の「人財」にも広く参加を求め、多様な「人財」での活動支援に取り組みます。「人財」支援開始を広く団体関係者、地域「人財」に周知し、効果的な事業とするために、市民活動の必要性や「人財」の有効活用をテーマに講演会やワークショップを予定しています。

(3)その他

ファンド事業を効果的に推進するために、ゆめおりファンド認証作業の実施、規定・基準・帳票類の見直し再整備やファンド事業紹介パンフレットの作成、「人財」支援チラシの作成等を行います。

【2】協議会自主事業

1. 総務部・事務局

協議会は近來各種活動を活発に繰り広げてきました。H27 年度は南大沢オトパの追加開催、福祉関係プロジェクト等新たな事業を立ち上げました。H28 年度も継続実施の予定です。直接担当としてもイベント以外に、助成金窓口、創業サポート事業窓口等も増えてきました。事務局はこれらの活動のかじ取り役として重要性が増しています。一方 H27 年度ベテランの事務局員が 3 名退任しました。人員の補充が必要です。事務局のあり方、人員、組織の見直しを行います。

(1)会員管理

会員管理としては①会員を増やす。②会員に協議会活動に参画していただく③会員とのコンタクト機会を増やす等があります。

1)会員増強

協議会が関連している講座・イベントの参加者の中で協議会に関心をお持ちと思われる方に協議会入会をお願いすることがあります。各イベントで資料配布する際、協議会入会申込書を同封することも考えていきます。志民塾生、志民塾サポーター、オトパ実行委員、わくわく広場参加団体の会員等は対象候補です。

2) 協議会活動に参画していただく

支援センターは各分野でサポーター制をとっています。協議会としても理事以外の会員に事務局をサポートしていただく、プロジェクトに参画していただく、イベントを応援していただく等を考えます。

3) 団体会員とのコンタクトルート

NPO 八王子会議等の準備に際し団体会員と面談し、アンケートに答えていただきました。各種イベント開催時に手分けして電話勧誘をしています。担当理事を固定化することにより、同じ相手とコンタクトすることにより、親しみを深めたいと考えています。

(2) 事務局の増員・役割分担

広報、会計、プロジェクトは分担が決まっていますが、それ以外のイベントは担当が決まっていません。実施にあたっては全員の協力が必要ですが、今年度は担当を決めていきたいと思っています。そのためには理事以外のメンバーの増員も考えたいと思います。

(3) その他

経理業務、ホームページ業務等専門知識を要する業務へのサポーターを考えていきたい。

2. 広報部

広報部全体としては、利用者の視点に立った、より双方向な広報活動になるように努力していきます。そのためにホームページのリニューアル、協議会だよりのレイアウトの変更などを計画しています。

(1) 協議会だよりの

これまで紙面をオールカラーにする、印刷を外注するなど、より読みやすく親しみやすい協議会だよりの目指してきました。今年度も引き続き読みやすい紙面になるよう工夫するのは勿論のこと、会員に役立つ情報の掲載や、相互のコミュニケーションツールにも利用できるような協議会だよりの目指していきます。27年度は1500部の発行部数を2000部に増やし、多くの公共施設や関連施設、店舗などに配布しました。今年度も更なる配布場所の開拓を目指したいと思います。長年の課題であった広告の掲載も、発行部数、配布場所の拡大がなければ実現しません。今年度も毎偶数月(6月、8月、10月、12月、2月、4月)の1日に発行予定です。

(2) ホームページ

28年3月から市民活動団体、市民、行政などを双方向でつなぐコミュニティ応援サイト「はちコミねっと」が開設され、市民活動支援センターが運用管理にあたっています。これにより多くの会員市民活動団体も、「はちコミねっと」に簡易ホームページを作成することになりました。協議会の「1ページホームページ」と重なるところがあるため、協議会のホームページでは会員向け無料掲載の「1ページホームページ」を廃止し、これを機にスタイル、機能も一新する予定です。今まで以上の利用価値と利用頻度の大きいホームページとなるように心がけ、協議会が中間支援団体として身近な情報源となるように、ホームページも活用しやすく変えていきます。

3. ネットワーク推進部

(1)お父さんお帰りなさいパーティー(略称:オトパ)

労政会館で開催のオトパに関しては、ツアーガイドのさらなる活用見直しや、参加者に好評な「団体紹介冊子」への掲載団体数の増加と協賛団体・企業数のアップも図る努力をします。広報・展示両面で町会関係の参画推進を検討します。

オトパ知名度向上のため通年の啓蒙活動として「HP」や「オトパ新聞」の再開を検討します。実行委員は一部共通するメンバーは据え置きますが、実働部隊としては労政会館組と南大沢組は昨年同様に分けていくことを考えています。メ南大沢で開催するオトパに関してはさらに広域化を進め、近い将来多摩市での開催も検討します。行政、企業、大学とのタイアップ等幅広い連携を狙います。南大沢地域在住者中心で検討を進めます。

他地域のオトパ実施市町・団体との交流を図り運営ノウハウなどのレベルアップを図るとともに、情報を提供し、他地域でのオトパ開催をサポートすることも考えたいと思います。

(2)東京高専 de サイエンスフェスタ

「東京高専 de サイエンスフェスタ」は東京高専が毎年実施している中学生、小学生高学年を主たる対象にしたイベントであり、協議会としても協力すべく、主に子ども関連の団体へ呼びかけ出展しております。今年も東京高専からの要請にこたえて対応を図るべく進めてまいります。

(3)わくわく広場 (11月19日・20日 第37回八王子いちようまつり)

いちよう祭り「わくわく広場」は来年度も実行委員会形式で行います。昨年度の反省を踏まえ、8月より募集を始め、9月は新たな参加者団体の説明会とし、10月8日に第1回、11月5日に第2回目の実行委員会を開催することとします。フードコートを見直し、ゆったりとしたスペースを確保するなど、大幅な配置の変更を行います。協議会の負担(財政・人材)の軽減を図る方向に検討していきます。

(4)井戸端会議

八王子市子ども家庭支援センター共催「八王子子育て支援団体ネットワーク」は昨年度のプログラムを引き継ぎ、実際に団体のネットワークを活かして、子どもたちに提供するイベントを開催します。6月ごろより団体に呼びかけ、実行委員会を立ち上げ、9月の「お父さんお帰りなさいパーティーin 南大沢」に参加予定です。

4、政策研究部

政策研究部は前年度に引き続き協議会の大きな課題と考えられる以下の4つのテーマでグループ(以下Gと略す)を設け、理事は全員何れかのGに所属して、課題検討～解決方法提案～実行、もしくは政策提言に関わって頂きます。4つのGとは；①絆(きずな)G ②活動資源支援G ③新規事業開拓G ④組織体制検討Gを指します。また、政策研究部としての事務局機能(各Gの課題推進支援、全体会合の運営、新たな課題提案への対応・扱いや取り上げ方などを行う)を進めるメンバーを決め、グループ毎の課題推進支援、G相互の情報交換及び政策研究部全体の意見交換の場を設け新しい課題の掘り起こしと、課題の推進方法策定などを検討し進めたいと考えます。

(1)絆グループ

27年度に作成したハンドブックの更なる活用が大きな課題です。

包括支援センター(高齢者あんしん相談センター)とケアマネージャーの人たちに活用してもらうための活動は必須です。また、このハンドブックの掲載内容は高齢者向けと、高齢者関連情報が大部分であるので、前年度に対象でなかった「子育て、障がい者などに関する活動団体」の掲載は今後は是非行わなければならない事項と考えています。

28年度版「生き生きハンドブック」をインターネットで利用する方法の普及や、情報の更新も必要です。予算・人材面での大きな課題もありますが前向きに挑戦したいと考えています。

(2) 活動資源支援グループ

今年度より、NPO団体の基盤強化、信頼性の向上に欠くことのできない活動資源である「人財」によるサポートを支援センター事業としてスタートさせることができましたが、新しい取り組みとして、次のステップである。「資金」によるサポートの可能性、手法について調査研究を開始します。

(3) 新規事業開拓グループ

地域で災害が起きた時に、中間支援組織として支援センターも含めて、どのような活動ができるかを検討し、NPOとしての防災計画を検討していきたいと思います。

また、コワーキングについては、団体、使用手法についてニーズの把握に努めてまいります。

(4) 組織体制検討グループ

前年度からの課題を引き続き検討する中から、協議会の在り方を見出ししていくべく検討していきます。また政策研究部会の他のグループの動きも考慮しつつ、課題の検討に反映させる所存

5. プロジェクト

(1) 志民塾

平成25年度から運営を受託している志民塾も4年目となり、第8期生を迎えることとなります。事業報告でも課題として報告しておりますが、受講生も減少傾向にあり、「志民塾」の在り方など見直しの時期にきているものと思われます。今期も継続して市から運営の受託をうける予定ですが、主催である市とともに企画やカリキュラムの見直しを行い、より受講しやすい魅力あるプログラム、受講料に改訂していきたい考えです。多くの方が受講していただけるように、志民塾の募集の広報にも工夫が必要です。皆様のご協力をお願いします。

また、150名を超える卒塾生のフォローなどにも協議会、支援センターの協力をいただきながら、本格的に取り組んでいきたいと思っています。

(2) 第6回NPO八王子会議

NPO八王子会議は、大学、企業、行政など多様なセクターが一同に会し、相互連携や課題の共有、目標の設定、政策の提言などを目的とするとともに、様々な市民活動がその成果を出すことに結びつく会議となることを狙いとしています。八王子市が平成29年に市制100周年を迎えるに当り、「百年の彩を次の100年の輝きへ」という基本テーマに沿った内容を検討していきます。